

# ベニガラ谷～好事魔多し～

【報 告 者】○森

【日 時】2017年8月26日～27日【天 候】小雨～曇り時々晴れ

【参 加 者】○原・K崎・M月（関西蛍雪山岳会）・○森

8/26 0800 入溪（御泊）-1000 ヌシヨウ谷出会-1500 三俣（H860m野営地）

8/27 0600 野営地（発）-0800 二俣（H990m）-0830～1000 核心部-1130 稜線  
-1240 傾山山頂付近-1530 登山口-1600 駐車場

## 《 報 告 》

沢屋のバイブルである沢源で「沢師、沢屋なら一度は遡る！九州本土で十指に数えられるような険悪な谷」と評されるベニガラ谷を、8/26-27の沢中一泊で遡行してきた。



国道326号線を道の駅宇目方面へ南下する途中にある「ととろ入口」交差点を西方面へ進み、御泊集落へ。

入溪地（h 300m）



林道沿いに建つログハウスから数百m下った空地に駐車し、入溪。  
ログハウス脇からも沢へ下る道があり、ここから入溪した記録も多い。

二重堰堤



広河原



入溪後、直ぐに現れる巨大な二重堰堤を超えると沢は暫く伏流になる。



小滝 (400m)



ナメ (540m)

沢の前半は小滝あり、ナメあり、プチゴルジュありの楽しい溪相。



8 m滝 (570m)



2段 25m滝 (770m)

前半核心部。何れも右（左岸）を高巻いた。8m滝は左岸（矢印ライン）を登った記録あり。

初日は小雨が降る中の遡行で、増水による途中敗退も考慮したが、次第に雨は小康状態となり、テン場（860m）に着く頃には止んでいた。懸念された焚火もO原さんが持参してくれたバーナーにより一気に着火。

焚火を囲み、K崎さん持参の塩サバやシャウエッセン、M月さん持参の燻ベーコンを炙る。五臓六腑に染み渡るとは、正にこのことかと思わせる旨さ。酒も進み、話も盛り上がる。これぞ沢登りの醍醐味である。

樹間に張ったタープの下、雨に降られることも無く快適な一夜を過ごした。



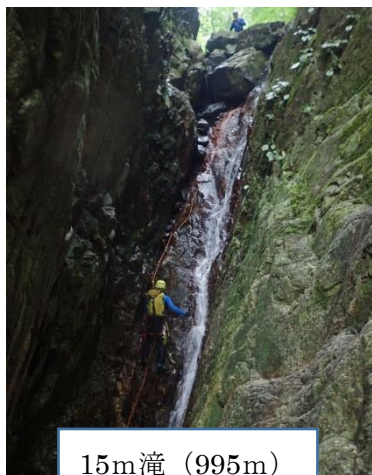
テン場 (860m)



食材炙りに金串が大活躍。持ち運びするうえで先端保護のためのコルクも必要。

明けて二日目。

重い体を引きずるように枯沢を詰めてゆくと徐々に断崖が両側から迫り、ゴルジュ様の溪相となっていく。



15m滝 (995m)

第一核心である15m滝、続く3m小滝を突破後、程なく核心部に到着。

核心の巻 15m滝 (1067m)



核心部は三段形状であり、一番上に絶望的な断崖を両翼に従えた15m滝が聳え立つ。正にラスボス。

結論から言うと、核心の巻きはルーファイも支点工作も完璧であった。ここまでは。

核心を突破し、滝の真上に立つことで浮かれた我々は、トポを見ることも無く枝沢を詰めあがり、稜線(1300m)に出てようやく誤りに気付くという体たらく。幻の連瀑帯を拝むことなく、傾山までの険しい登山道を只管登り、長い下山を経て車に戻った。山行記録の詳細はO原さんがアップしたヤマレコが分かりやすいので、末尾にURLを貼っておく。次にベニガラ谷を遡行するパーティーの参考になること請け合いである。

何はともあれ、誰も怪我することなく無事に山行を終えることが出来本当に良かった。皆さん、ありがとうございました&お疲れ様でした。

次は市房の境谷に行きましょう！

(今回の教訓等)

- ・ 装備にノコギリ必須。雨天時でもバーナーがあれば着火の心配はない。
- ・ 高価なジフーズ代わりにカップ飯系は使える。
- ・ お助け紐代わりに細引きで作った鑑が有効。

(※M月さんより作り方の資料提供あり。有難うございます！)

- ・ ピナクルの先人が作った遡行図はどの記録よりも精緻。必携。

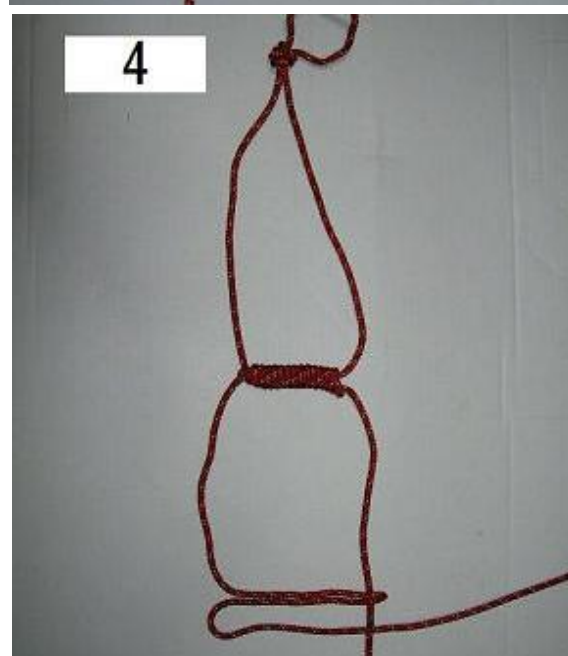
(O原さん作成のヤマレコ山行記録)

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1238909.html>





## 望月さん提供 細引きアブミの作成方法



☆ ロープの太さは4 mm 以上あれば強度は充分ですが、5～6 mm 程度がベストです。長さは8 m～10 m の範囲で自分の身長に合わせて、段の間隔を調整して下さい。

- 1) 1本の紐を2重にして真ん中をフェラー結びする。片方のロープを一段目の長さで、もう一方のロープに折り返し、さらにもう一度（1往復半）反対側のロープの方に出しておく。
- 2) 左側のロープで、先ほど折り返したロープを巻いていく。これがステップになるので、大きさを調整しながら巻く。
- 3) 巻いたロープは最後に、残った輪に通して締め上げる。
- 4) 今度は左側のロープを（1）と同じようにセットし（2）→（3）と繰り返す。

※ 一般的には4段アブミが使用されますが、最後に少しロープを余らせて末端をテグス結びにすれば、5段アブミとして使用できます。